

サクラソウ日記

自学ノート提出数累計
9冊(8人) 6/26現在

(自分に自信と夢を~いまをだいに、なかまとともに、一步前進をめざして) 校長 宮脇真一

前回もお知らせしたとおり、6月は「心のきずなを深める月間」。運動会を終え、改めてお互いを知り合ったり気持ちを確かめ合ったりする取組が進んでいます。一方、今年の特徴である「こどもが企画する」活動として、児童会の山口さんの公約でもある「興味のあることおしゃべりタイム」が行われ、多くのこどもたちが参加しました。学年を超えたなかまづくりのきっかけになればという山口さんの思いがこの取組には込められています。



体育館で「おしゃべり」
(2024/6/19 撮影)

「ことば」の力をのばす ~ 町学力調査分析から ~

4月に3年生以上の学年で実施した大津町学力調査の結果が返ってきました。今回は、思ったほど伸びが少なく、どの学年も十分に力を発揮できていない状況が明らかになりました。

結果を分析し、今後の授業を中心に計画的な家庭学習も同時に積み重ねていきますが、どの学年にも共通して見られた傾向を整理すると次のようになりました。

- 「ことば」についての理解に課題がある。
→ ことばそのものを知らない、知っていても意味を十分にとらえていない。
- 問題場面の状況を把握することに課題がある。
→ 問われていることに、正確に答えきれていない。
→ 解決そのものを途中でやめてしまっている。

調査問題を改めて見ると、国語・算数とも単純に答えを問うというよりも、一定のストーリーの中で、場面を理解して解答することが求められています。また、データや文脈から根拠を明らかにして自身の考えを表現することが求められています。学校では、これまで以上に授業の中で、言葉や表現されている文脈を理解することを大切にした授業を進めていきます。同時に、家庭での学習も音読や短作文など「ことば」にこだわった継続的な取組を指導していきますので、こどもたちの様子を見て、頑張りをお押ししていただければと思います。

なお、個々の状況については、担任とこどもたちの間で行う個人面談の中で、成果と課題を確認していきます。

算数サロン ~ ちょっと理科 ~

昨年度は大雨のため、中止となったPTA行事「算数サロン in 大津小学校」。今年は「ちょっと理科」も加えながら、今週末に実施します。

先週、PTAイベント係のみなさんと、会を主宰する山本信也先生(熊本大学名誉教授)それに、大津高校化学部のみなさんで入念な打合せも行いました。駐車場には限りがありますが、短い時間でも参加されてみませんか。(私もスタッフとして参加します)